

ニユ-タイプ
いっしょい頃

R-18



輝かしいはずの宇宙世紀が
こんなふうになることを



あの頃はまだ
何も知りませんでした



あはは

歴史の授業、
ネイルの話だったら
いいのね〜？

地球への修学旅行は私は
風邪で行けなかった

修学旅行で地球に行ける
学校だったから
頑張って入ったのに
この時は本当に悲しかった

はあ…
みんな楽しそうだな…

今まで風邪なんて
引いたことなかったのに
なんで急に…

あれ…
ギレン総帥の
緊急演説だって…
なんだろう…

通知

…罪なきハツテ市民の死に
涙する者はいるか？

当然だ！

哀れみ深い我が
ジオン国民は彼等の
為に泣き 彼らの為に
祈るだろう！

…同時に我が国民は満腔の怒りを
邪悪な地球連邦に向けさせなければ
ならない！

スペースノイドを離反させ！
愚かなハツテ指導部を
そそのかして我々に敵対させた
連邦こそが真の敵なのである！



コモリ！
下へ来て！
戦争よ！



何が起こってるの？
また連邦が仕掛けたの？

友達のメッセージアプリの
更新が止まってから
それが
現実だと理解しはじめた



テレビで繰り返し
映し出された
コロンー落としての映像は
あまりにも非現実的で

すぐに理解することは
できなかつたが

それから半年で世界の人口の
半分は喪われた



「コロニー落としはジオンの先制攻撃ではないかという議論は気がついたらたち消えになっていた」



「名前だけ知っていた ジオン・ズム・ダイクンの本をはじめ読んでみると 周りの女の子がみんな読むようになってからだった」



小さな自分と
大きな国の命運が
一体化する高揚感
は
今まで経験したことが
ないものでした



試験はもともと
カンでやっても
強いタイプだった
のでどうにかなった



兵役検査は
とても厳しかったけど



戦場に行きたがってる
女の子なんて
そんなにいないと思ってたけど

徴兵志願所に行く
と
同世代の女の子達で
溢れかえっていた

そうなんだ！
これなんだ！

私が求めていた開戦の大義
死んでいった仲間達の理由を見つけた！
そういう予感があった

よくわかる ジオン・ズム ダイクン

動画には今まで
関心がなかった
真実の世界があった

私は争いなど望んでいません。
私は穏やかな未来を、
人類全体で分かち合える時代を
夢見ています

地球を救うという、
本来なら連邦政府が
先に考えるべき理想を我々が
先に実践するだけなのです！

本当の私を知ってください！
我々はただ反抗するのではない

地球を休ませる
その一歩がこの宇宙に
生きる我々の、
未来への責任なのです！

強い喪失感をもっていた私にとって
ジオン・ズム・ダイクンは心の支えになり
師匠となっていた



小さな自分と
大きな国の命運が
一体化する高揚感は
今まで経験したことが
ないものでした



戦場に行きたがってる
女の子なんて
そんなにいないと思ってたけど

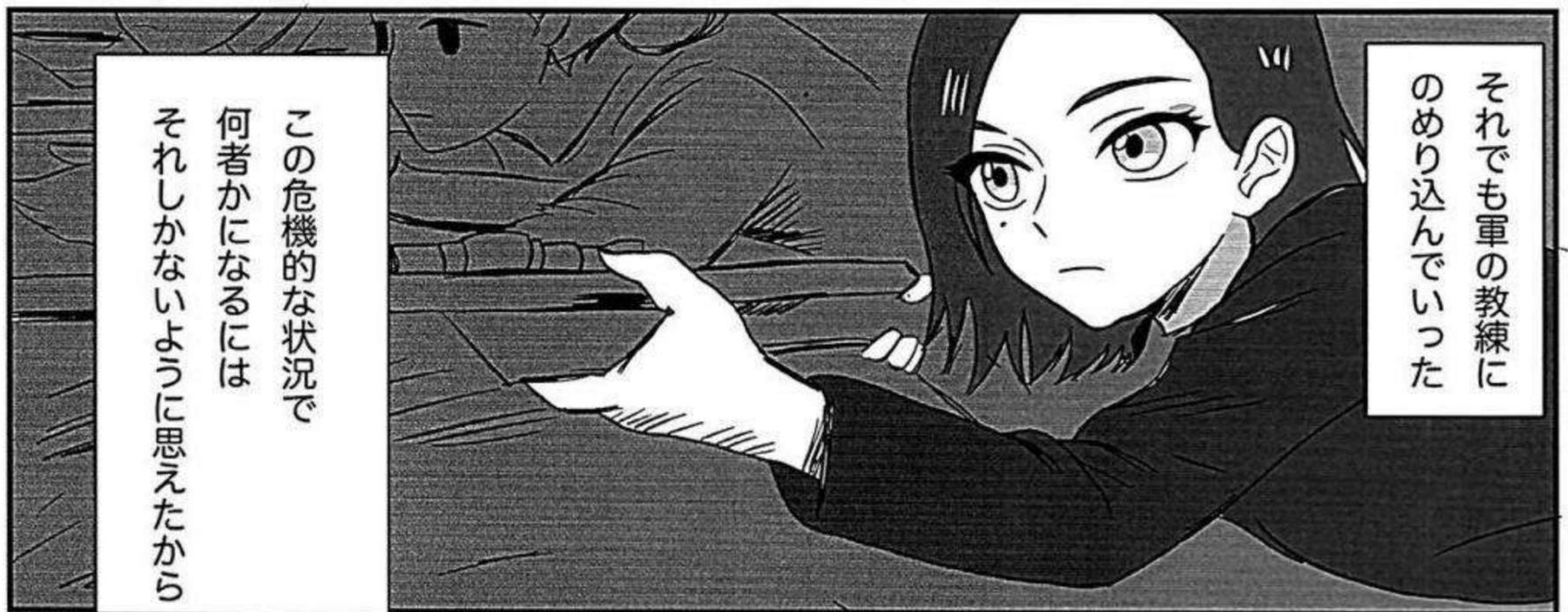
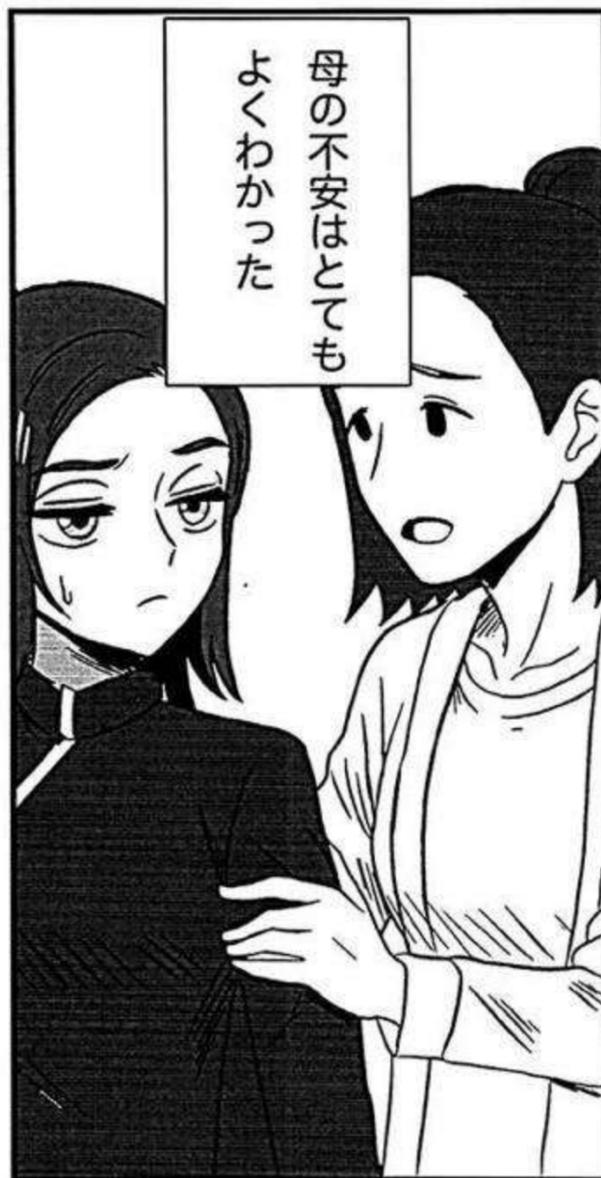
徴兵志願所に行くと
同世代の女の子達で
溢れかえっていた



試験はもともと
カンでやっても
強いタイプだった
のでどうにかなった



兵役検査は
とても厳しかったけど





戦場に出る前の
士官学校に入ってからすぐに
一年戦争は終わった

戦勝パレードに学徒隊として
出れたことは人生で一番嬉しい
瞬間だったかもしれない



今日は一日中祝おう！

ジオンの勝利だ！

ジオンが勝った！



同期のみんなで勝利の
喜びを分かち合って
幸せだった



飛んでいる
モビルスーツを肉眼で
見たのも戦勝パレードの
この時が初めてでした



貴賓席のバルコニーから
ギレン総帥とキシリア様が
登壇された時は会場は
最高潮だった

それは地鳴りのような
世界を包む拍手だった

この日を境にコロニー落としの
ザビ家の責任を問う声は
聞かなくなりました

パチ

ジークジオン!

人道的な問題よりも
自分達が勝者でいられることが
何よりも大事だったんでしょ

わたしもみんなと同様
勝利の幸せのあまり
息が詰まりそうで…

ジークジオン!

全ての人々が
一つのところへ向いて
熱い視線を送っている…

ジークジオン!

そうやって何十分も
拍手を続けていた…

パチ

チ

チ

パチ



訓練部隊の研修
戦時の民間人の保護に関する
討論会の時

…まず民間人の権利は戦時下において、無差別戦争観の立場から常に守られるべきではないという立場を取ります

地球連邦においては
軍事と民間の境界が曖昧であり、
後方支援を行うものは
合法的なターゲットとして
みなされるのです

ユモリ准尉、
南極条約においても
非戦闘員の保護は
明記されています

戦争の倫理と
ジオンの理念は
そこから逸脱すべき
ではないのでは？



あなたは
連邦にも正義があるって
いうんですか？

あ…またこのタイプか…

公国出身の子って
こんなばかりだなあ…

教官

ジオン軍の方針としては
エグザベ准尉の意見が正しい





ジオン軍のごはんって
美味しくなですよねえ

もぐ
もぐ

そう？

考えたこともなかった

え

難民だった時よりは
全然マシみたいな
感じですか

マシ

軍人である以上
必要な栄養価を
満たせば終わり

とっつかないで僕が
難民出身って
知ってるんだろう

誰かから聞いた？

おいしい店
あるんですけど興味ない？

あんまりそういうのは…





なんかお揃いに見えない？

いいじゃん！
仲良さそうで！

ほら！このドーナツ
すごくおいしいんだよ！

一緒に食べよ！
ほらあーん！

なんかデカいな……

はむっ





いただきます！

エグザベくんいつもの表情と全然違うな…

連れて来てよかった…！



ジオン軍のご飯もこれくらい美味しかったらな！



ちよっとはりきりすぎかな？

まあ軍ではあんまり食べないしいいか！



ポリユーム感を出しつつも重くなりすぎないちよつどいい隠し味の酸味…

柚子コシヨウベースのさっぱりとしながら深みのある味わい…

今日はおうちで
宅飲みだ〜！

エグザベくんの
手料理たのしみだな〜！

料理は全部僕が
やっちゃうから
適当に飲んでていいよ

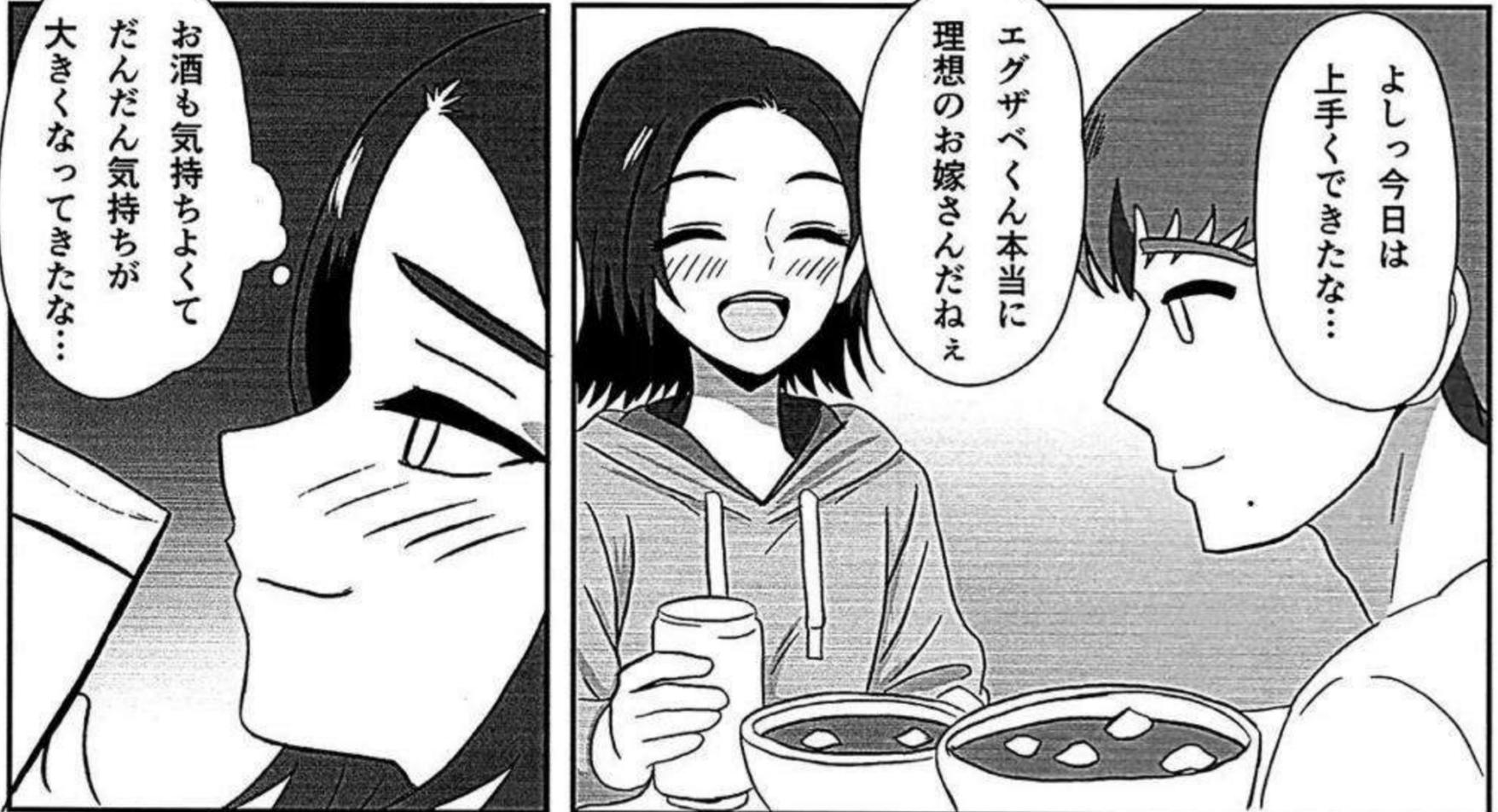
もう少しでできるから
待っててね！



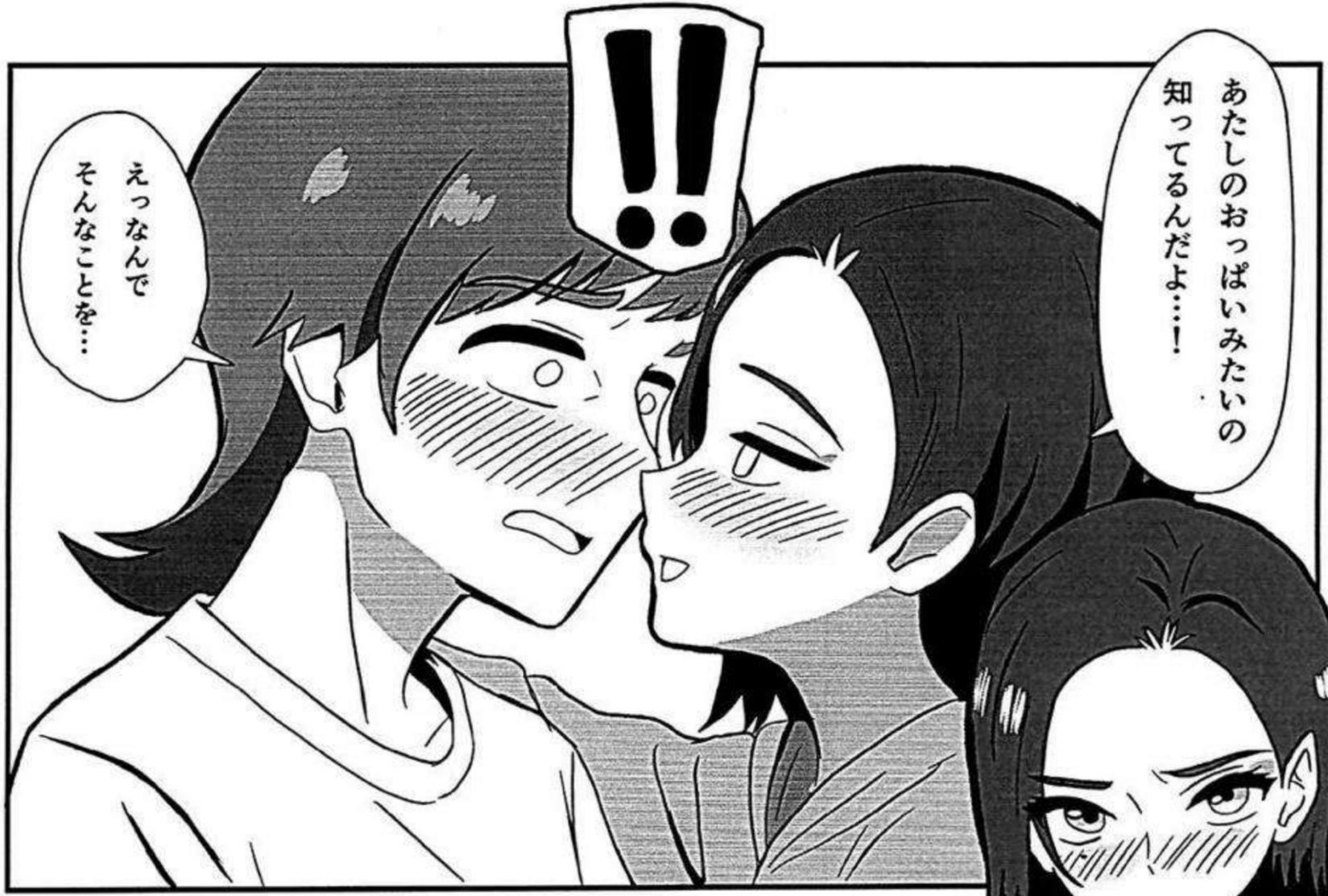
よしっ今日は
上手くできたな…

エグザベくん本当に
理想のお嫁さんだねえ

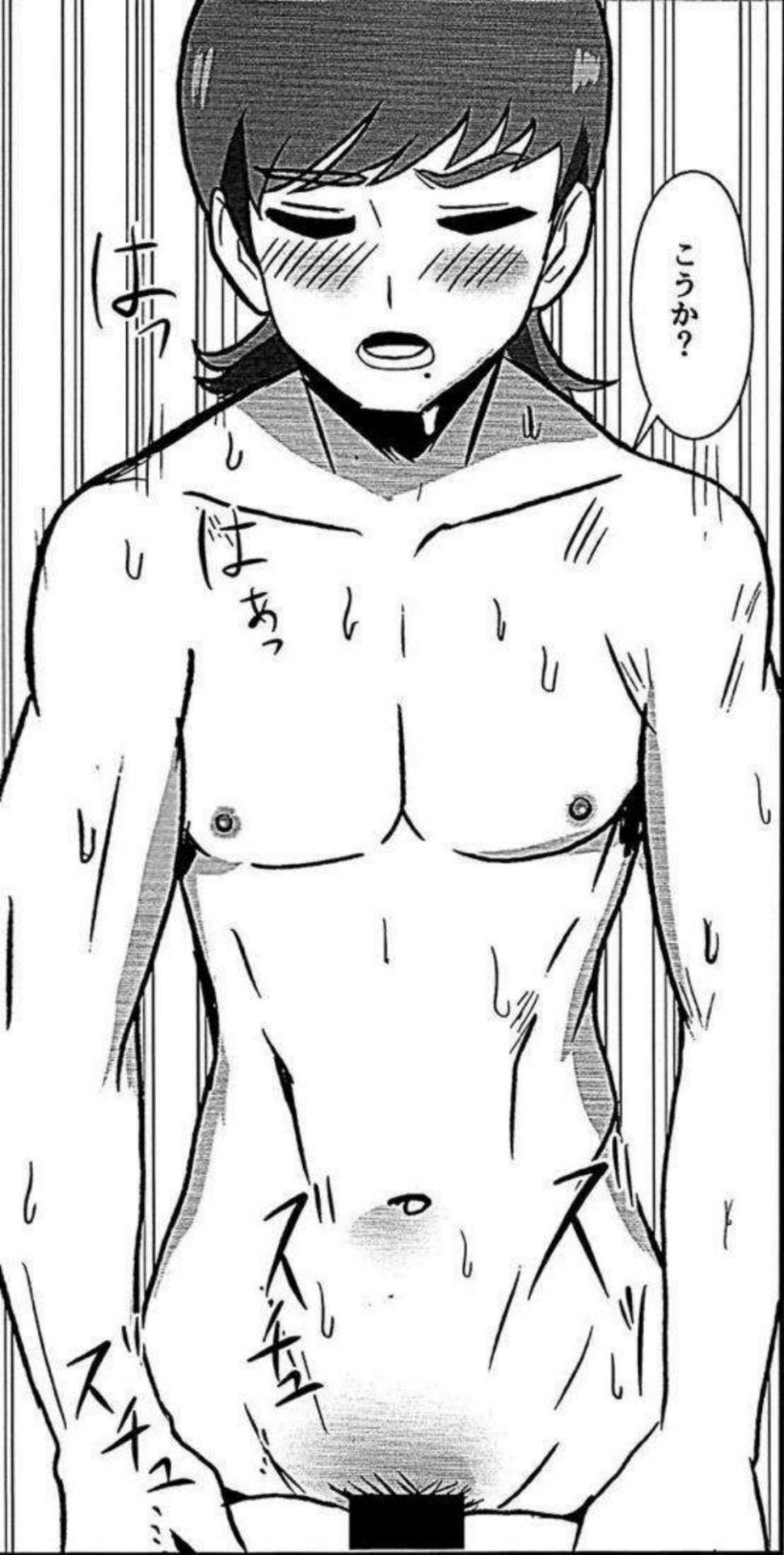
お酒も気持ちよくて
だんだん気持ち
大きくなってきたな…

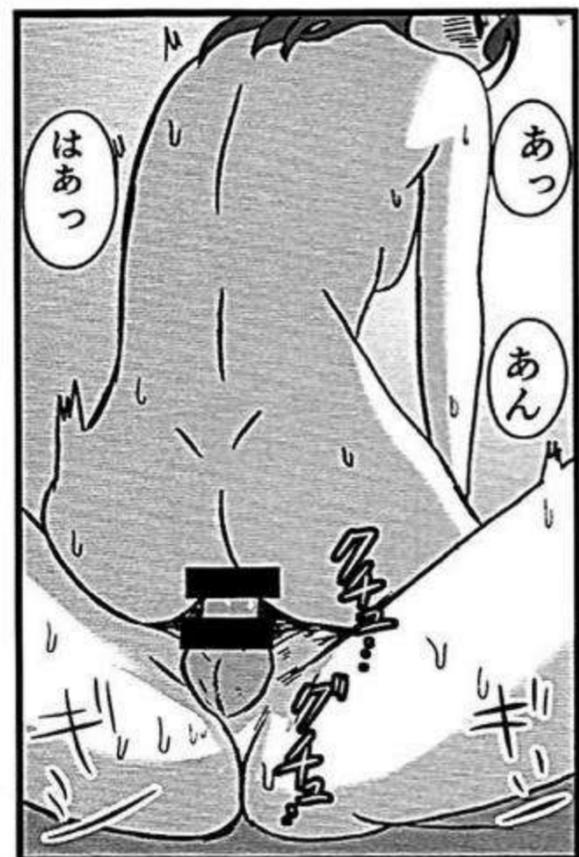


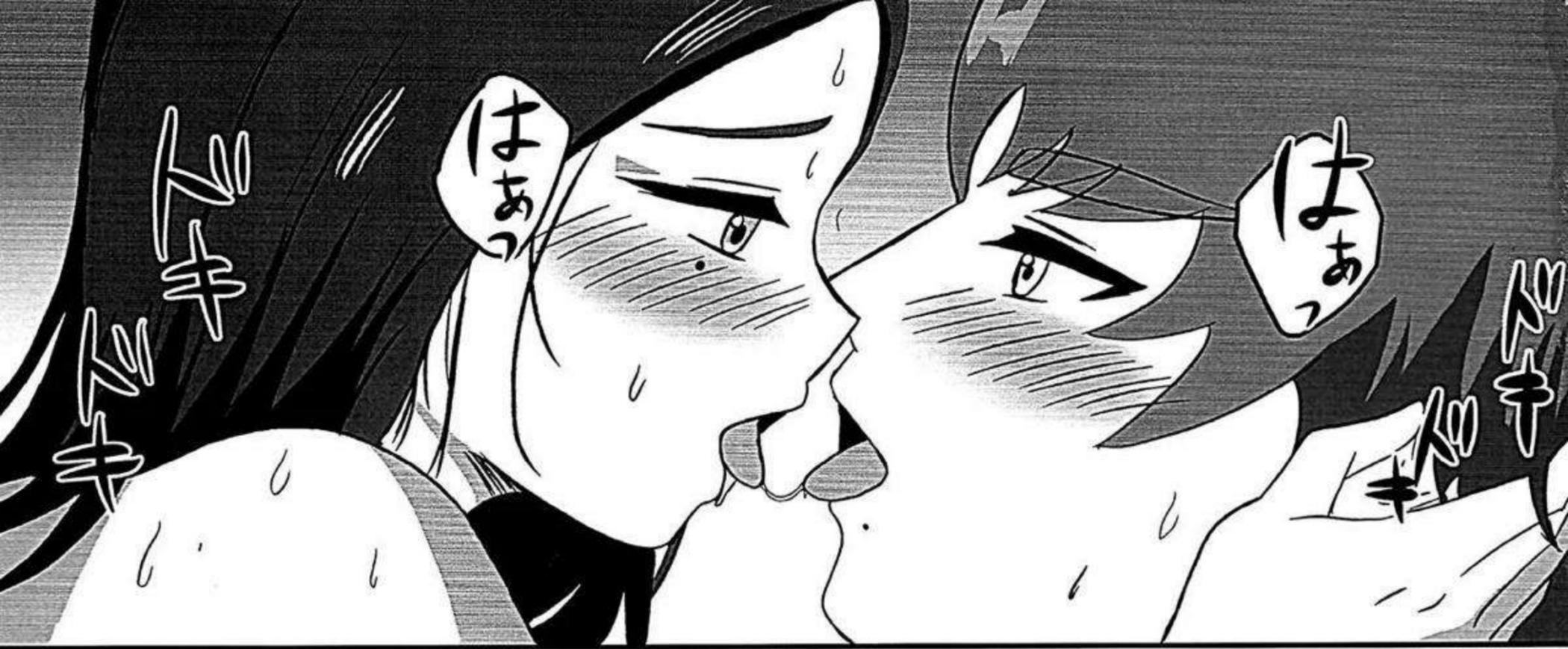




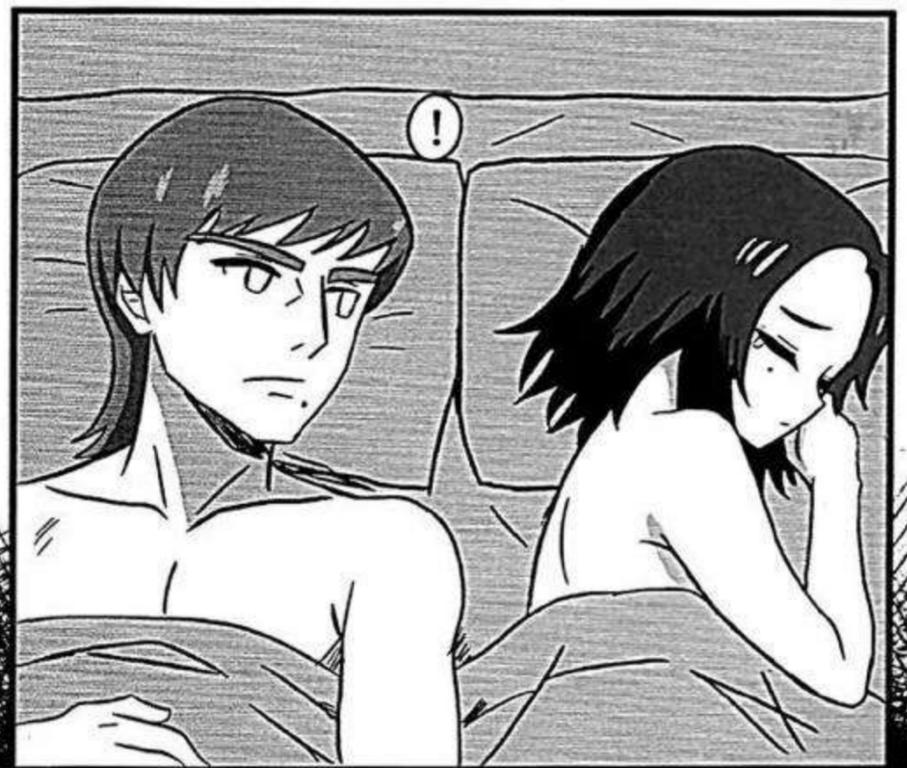












だから僕は
コモリさんが戦争で何を
あったのか聞かない

戦争で何かを
失ったなんて
今ではありふれた
話すぎる



あの日々を生き抜いた僕たちでさえ
本当の歴史なんて誰も知らない

誰にも見せない部分を
僕だけが知っている



一年戦争が
終わった今でも
時々コモリさんは
こうして泣く

あとがき

ここまで読んでくださってありがとうございます。今回が初めての二次創作同人誌制作&初コミケ参加（売る側）でした。コミケに売る側で参加するという長年の夢が、なんとか形にできてホッとしています。

「ジオンが勝利した世界線のガンダム」と聞いて、真っ先に気になったのは——独裁国家として勝ったジオンは、いったいどんな社会を築いているんだろう？ということでした。

最近の世界情勢、たとえばロシアやイスラエルのように、消費社会がある程度発達した独裁国家がどう振る舞うか、という現実があるなかで、アニメではそうしたテーマがどう描かれるのか、すごく興味を持って本編を楽しみにしていました。

……が、実際にはご存知のとおり、メインはシャアとララァ、マチュとニャアンの物語でした。もちろん、作品としてはとても面白くて満足なのですが、「ジオンってどんな国なの？」「勝利したあとの社会ってどうなってるの？」みたいなディテールにはあまり踏み込まれていなくて、そこはちょっと残念でもありました。もしもう一クールあれば、そのへんも描かれたのかな～

じゃあ、本編ではほぼ描かれなかったコモリ少尉とエグザベ君に過去に何があったかを通して、えっちなシーも含めて自分で描いてみよう！という気持ちで作ったのがこの同人誌です。

コモリ少尉って、本当に“ジオン出身”なのかな？
マチュやコモリはお嬢様学校を出ていて、定住者の象徴的存在。
それに対して、ニャアンやエグザベ君は難民出身で、非定住者の側。
そんなふうに、「ジオン vs 非ジオン」だけじゃない、もう一つの対立構造があるんじゃないか……
そんな仮説から世界観をふくらませていきました。

「やばい思想にはまったコモリ少尉を、エグザベ君が引き戻す」というストーリーをベースにしつつ、女子高生が一斉に右傾化したら嫌だなとかのホラー要素や、ジオン・ズム・ダイクンは意外と女性人気が高そうとか、ジオン軍の食事はまずそうだなとか、いろいろ思いついたことも気軽に詰め込みました。

本当はもっとページ数を増やしたり、作画の説得力を高めたかったのですが、モノクロ原稿がかなり久しぶりでほぼ初めてなうえ、やはり本編放映直後の勢いで作った同人誌なので…次に生かせれば…

読んでくださって本当にありがとうございました。
感想などいただけると、とても励みになります！

この本を手にとってくれた皆さんによき人生を。

2025年 8月16日

ニュータイプじゃない頃

発行：リモリ会

発行人：リモリ

印刷：ねこのしっぽ

連絡先：SNS/https://x.com/rimori_works mail/rimoribiz@gmail.com

2025年8月16日 初版発行

Rimari Kai